

## 2020 年度前期特定機能病院監査報告書

－慶應義塾大学病院－

2020 年 4 月 1 日から 2020 年 9 月 30 日までの 2020 年度前期の慶應義塾大学病院（特定機能病院）監査委員会（以下「監査委員会」という）における監査結果を以下のとおり作成したので報告する。

### 1. 監査の概要（方法及びその内容）

医療法施行規則第 15 条の 4 の 2 に規定される監査委員会として、慶應義塾が設置する監査委員会において管理者等からの報告に基づき、医療安全管理責任者、医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者、医療放射線安全管理責任者、感染制御部門等の業務を監査した。監査対象となる責任者、部門、委員会については、業務の執行状況等について 2021 年 2 月 22 日に開催した監査委員会において、当該担当者等から資料の提出及びに報告を受け、必要に応じて説明を求めた。

#### ＜監査項目＞

- 1) 医療安全管理部門について
- 2) 医療安全管理委員会について
- 3) 医薬品の安全管理について
- 4) 医療機器の安全管理について
- 5) 医療放射線安全管理について
- 6) 感染制御部門について
- 7) その他必要と思われる事項

### 2. 監査結果

監査委員会において、2020 年度前期における医療安全管理責任者、医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者、医療放射線安全管理責任者、感染対策運営委員会等の業務の状況等について審議した結果、医療に係る安全管理が適切に実施されていることを確認した。

新型コロナウイルス対応で大変な状況下、改善に努め、前進していることは評価したい。しかしながら、以前から課題になっている研修医のインシデント・アクシデントの報告数、未承認・適応外医薬品等の申請についての医師の周知率、手指衛生の遵守率について、さらなる改善に努めていただきたい。

### 3. その他意見、提案事項等

- 患者さんに向けての情報提供（パンフレット等）が増えてきていることは評価できるが、文字の大きさなど患者目線に立ったわかりやすい情報、内容となるよう検討いただきたい。
- インフォームド・コンセントのマニュアルは整ってきたが、患者側にどのくらい伝わっているのか、患者目線に立ったインフォームド・コンセントの取り組みをお願いしたい。
- すべての病棟に薬剤師が配置され、プレアボイドの件数も増加したが、まだ薬剤に関する禁忌薬・副作用など課題も多いので、薬剤関連の安全性向上に向けてさらなる病棟薬剤師の活躍を期待したい。

慶應義塾大学病院特定機能病院監査委員会

2021年 4月 20日

委員長	山口	徹
委員	市村	尚子
委員	中谷	比呂樹
委員	宮沢	忠彦
委員	山口	育子